

学力調査リーフレットの配付について

1 配付の目的

1月15日にSASA速報（良好な点と課題、県データ）がアップされ、それを基に各学校では県と比較して自校分析を行って対策を立て、児童生徒には個票を配付し、個別指導しているところである。

学力向上センターでは、県全体としてポイントを絞った授業改善を促すために、平成27年度全国学力・学習状況調査とSASA2015の結果を統合して、県として特に重要視している課題とその改善事例をダイジェストで示したリーフレットを作成した。

学力向上には、教員の意識改革と息の長い地道な実践が求められるところであり、それを促すため、小中教員全員に配付することとする。

2 配付の対象

学力調査実施校の全教員

3 リーフレットの内容

- ・全国学力・学習状況調査について
 - 平均正答率の3カ年の推移
 - 児童生徒質問紙での「良好」・「課題」
 - 学校質問紙で、学力との相関が見える特徴
- ・各教科の指導改善について
 - 全国学調、SASAから見える良好な点と課題、課題克服事例
 - SASA「Cチャレンジ問題」で求められる学力と授業改善の方向性
- ・SASA質問紙について
 - 生活、学習に関する質問と正答率の関係（小学校のみ）
 - 学級に関する質問と正答率の関係

4 活用方法

- ・各校、各クラスの学力や質問紙の状態をチェックし、即時に対応すべき課題については、SASA速報でも示してあり、速やかに対応する。
- ・長期的な授業改善が必要な部分は、次年度の各校の学力向上プラン、各教科のカリキュラム作成に反映させ、年間を通した授業改善の計画を立案する。
- ・リーフレットはダイジェストであり、詳細はSASA報告書が3月上旬に研究所ホームページにアップされるので、それを参考にする。